

<<評価基準>> A:目標を達成することができた(100%以上)
 B:目標を概ね達成することができた(80~99%)
 C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
 D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	1年度		実績	評価 R1
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること(指針③)	①地域内経済動向調査の実施	2	4	15社に年4回の調査を実施。結果はHPIに掲載する予定。	A
	②各種資料を活用した経済動向調査	2	0	商工会HPを刷新。逐次、情報発信可能なHPIに改良中。	C
	③地域公共団体・金融機関との情報交換会の開催	2	2	懇談会を2回開催、地域景況の把握と情報交換に努めた。	A
2. 経営状況の分析に関すること(指針①)	①基礎的経営データの収集と簡易分析	50	51	ネットde記帳委託先のデータ収集と簡易分析実施。	A
	②SWOT分析等詳細な経営分析	20	28	持続化補助金等の計画策定でSWOT分析を実施。	A
	③専門家派遣による分析支援	5	11	5社に対し11回派遣。複数回の派遣で課題を深掘り解決。	A
3. 事業計画策定支援に関すること(指針②)	①事業計画策定セミナーの開催	1	0	個別対応が増加したため、セミナーは未実施。	D
	②事業計画策定支援	13	28	持続化17、創業3、もの補1、経営力向上1、経営改善6社。	A
	③事業承継セミナーの開催	1	1	商工会青年部が主催しセミナーを開催。	A
	④事業承継計画策定支援	2	2	親族1、第三者1、県事業引継ぎ支援センターと連携対応。	A
	⑤創業塾の開催	5	5	塾を5回シリーズで開催。受講者は目標6人に対し6人。	A
	⑥創業計画策定支援	2	4	受講者から1人創業、個別対応で3人が創業。	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること(指針②)	①事業計画策定後の定期的なフォローアップ	52	84	計画策定後、28社を定期的(3回)に巡回フォローを実施。	A
	②事業承継計画策定後のフォローアップ	8	8	計画策定2社を4回に亘りフォロー。	A
	③創業計画策定後のフォローアップ	12	24	計画策定後4人を定期的(6回)に巡回フォローを実施。	A
5. 需要動向調査に関すること(指針③)	①新商品アンケート調査及びテストマーケティング	3	0	未実施。	D
	②飲食店における需要動向調査	5	0	未実施。	D
	③首都圏バイヤーに対する需要動向調査	2	0	未実施。	D
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること(指針④)	①商談会への参加による需要動向調査	3	0	未実施。	D
	②ECサイトを活用した販路開拓・拡大の支援	3	0	商工会HPを刷新。逐次、情報発信可能なHPIに改良中。	D
	③町内飲食店・小売店のIT活用による需要開拓	1	1	IT活用講習会を実施。受講者は目標10人に対し11人。	A

II 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	1年度		実績	評価 R1
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること(指針③)	①地域経済活性化のための検討委員会の設置	2	0	一部の地域において検討する動きあり。	C
	②「金ヶ崎オーワングランプリ」の継続と需要拡大	10	10	町内出店10店。集客数目標8千人に対し11千人。	A
	③観光資源の掘り起こしと観光ルートの開発	2	2	DC協議会で検討。	A

III 経営発達支援事業の円滑な実施支援に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	1年度		実績	評価 R1
		目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	①地元金融機関との連携	2	2	懇談会2回開催、経済動向の把握と情報交換を行った。	A
	②近隣地域の商工団体との情報交換	2	2	経営改善貸付連絡会議(2回)で情報交換を実施。	A
2. 経営指導員の資質向上等に関すること	①研修会参加による資質向上	5	4	計画的に参加。中小機構の研修のみ参加出来ず。	B
	②OJTによる取組	—	—	適宜、実施。	B
	③職員全員による支援ノウハウの共有	—	6	R1.10~月1回定例で支援職員のミーティングを実施。	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	①評価委員会の設置による事業の評価検証	2	1	委員会は1回開催(評価会議を兼ねる)	C
	②総務委員会、理事会での進捗状況の確認と検証	4	4	総務委員会1回、理事会3回で確認と検証を実施。	A
	③職員会議による進捗状況の確認と検証	12	12	実行会議(職員で構成)で12回で確認と検証を実施。	A